

# 令和2年4月 全国百貨店売上高概況

令和2年5月22日

## I. 概況

1. 売上高総額	1, 208億円余
2. 前年同月比	-72.8% (店舗数調整後/7か月連続マイナス)
3. 調査対象百貨店	73社 203店 (令和2年3月対比-1社2店)
4. 総店舗面積	5,187,424㎡ (前年同月比:-4.0%)
5. 総従業員数	61,801人 (前年同月比:-7.5%)
6. 3か月移動平均値 (店舗数調整後)	9-11月 -1.1%、10-12月 -8.8%、11-1月 -4.7%、 12-2月 -6.3%、1-3月 -16.8%、2-4月 -39.7%

[参考] 平成31年4月の売上高増減率は-1.1% (店舗数調整後)

### 【特徴】

4月の売上高は72.8%減(7か月連続)と、前月(33.4%減)よりさらに39.4ポイントダウンし、統計開始(1965年1月)以来最大の減少率となった。

新型コロナウイルス感染症により、4月7日に7都府県に発出された緊急事態宣言が、16日には全国に拡大したことに伴い、営業自粛がさらに広がる結果となった。外出自粛の気運も一段と強まり、入店客数も8割弱減と大幅にマイナスした。

地区別では、大都市(10都市/76.0%減)のマイナス幅が地方(10都市以外の地区/64.2%減)を11.8ポイント下回っており、その差は前月よりも1.9ポイント拡大した。

海外からの渡航者の入国制限はほぼ全ての国が対象となり、訪日客が激減したことから、インバウンドは購買客数99.5%減(3か月連続)、売上高98.5%減(5億円/3か月連続/シェア0.4%)と大きく落ち込んだ。国内市場は、食料品などとともに一部法人外商やECサイトが動いたものの70.6%減(7か月連続/シェア99.6%)となった。

食料品については、生活必需品の確保の観点から、多くの店舗において営業を継続したことにより、全売上の4割以上のシェアを占める結果となった。野菜や精肉などのデパートから生鮮食品が堅調だった他、宅配も好調だった。ECサイトについては、構成比は低いものの、2倍以上の伸びを示す店舗も見られるなど急伸した。特に、食料品、化粧品、婦人バッグ、衛生用品などが動いた。

### 【要因】

(1) 天候：気象庁発表「4月の天候」の特徴は以下のとおり(一部抜粋)

◇大陸からの寒気の影響を受けやすかったため、全国的に気温が低く、特に西日本ではかなり低かった。降水量は北・東日本で多く、日照時間は東日本太平洋側と西日本でかなり多かった。

(2) 営業日数増減 24.7日(前年同月比 -5.2日)

(3) 土・日・祝日の合計 9日( " -1日/国民の休日1日減)

(4) 入店客数増減(回答店舗数で見る傾向値/前年同月比/有効回答数111店舗)

①増加した：1店、②変化なし：1店、③減少した：109店

(5) 4月歳時記(春物商戦、GW)の売上(同上/有効回答数82店舗)

①増加した：2店、②変化なし：3店、③減少した：77店

## 全国百貨店 売上高速報 2020年4月

第1表 地区別売上高

※店舗数調整後 ( )が調整前

地区	売上高(千円)	構成比(%)	対前年増減(-)率(%) ※
<b>全国</b>	<b>120,893,986</b>	<b>100.0</b>	<b>-72.8 (-73.1)</b>
<b>10都市</b>	<b>77,268,061</b>	<b>63.9</b>	<b>-76.0 (-76.0)</b>
札幌	3,571,698	3.0	-69.8
仙台	2,213,561	1.8	-62.1
東京	30,114,090	24.9	-76.1 (-76.1)
横浜	7,196,643	6.0	-73.5
名古屋	7,701,073	6.4	-73.2
京都	4,664,225	3.9	-75.2
大阪	14,365,645	11.9	-78.9
神戸	2,327,066	1.9	-79.8 (-78.6)
広島	2,850,940	2.4	-68.2
福岡	2,263,120	1.9	-85.8
<b>10都市以外の地区</b>	<b>43,625,925</b>	<b>36.1</b>	<b>-64.2 (-65.4)</b>
北海道	514,598	0.4	-46.3
東北	2,780,718	2.3	-47.5 (-55.0)
関東	15,973,470	13.2	-69.3 (-71.1)
中部	3,403,422	2.8	-64.7 (-66.7)
近畿	7,191,999	5.9	-58.7 (-58.4)
中国	4,062,359	3.4	-56.4
四国	2,337,078	1.9	-67.1
九州	7,362,281	6.1	-62.9

第2表 商品別売上高

商品別	売上高(千円)	構成比(%)	対前年増減(-)率(%) ※
<b>総 額</b>	<b>120,893,986</b>	<b>100.0</b>	<b>-72.8 (-73.1)</b>
紳士服・洋品	4,621,109	3.8	-84.5 (-84.7)
婦人服・洋品	11,344,799	9.4	-87.0 (-87.2)
子供服・洋品	5,505,287	4.6	-58.5 (-59.6)
その他衣料品	2,537,780	2.1	-69.5 (-70.1)
<b>衣 料 品</b>	<b>24,008,975</b>	<b>19.9</b>	<b>-82.7 (-83.0)</b>
<b>身のまわり品</b>	<b>10,387,188</b>	<b>8.6</b>	<b>-82.8 (-83.1)</b>
化粧品	9,009,186	7.5	-81.3 (-81.4)
美術・宝飾・貴金属	5,903,990	4.9	-80.0 (-80.2)
その他雑貨	4,898,228	4.1	-68.5 (-69.7)
<b>雑 貨</b>	<b>19,811,404</b>	<b>16.4</b>	<b>-78.7 (-79.0)</b>
家具	2,460,704	2.0	-46.5 (-47.3)
家電	817,452	0.7	-16.6 (-16.7)
その他家庭用品	3,929,038	3.2	-68.0 (-68.5)
<b>家 庭 用 品</b>	<b>7,207,194</b>	<b>6.0</b>	<b>-59.6 (-60.3)</b>
生 鮮 食 品	13,872,507	11.5	-31.6 (-32.9)
菓 子	9,810,513	8.1	-66.6 (-66.6)
惣 菜	11,761,889	9.7	-55.5 (-55.8)
その他食料品	14,520,682	12.0	-52.2 (-53.2)
<b>食 料 品</b>	<b>49,965,591</b>	<b>41.3</b>	<b>-53.0 (-53.6)</b>
<b>食 堂 喫 茶</b>	<b>1,152,251</b>	<b>1.0</b>	<b>-89.9 (-90.2)</b>
<b>サ ー ビ ス</b>	<b>1,277,650</b>	<b>1.1</b>	<b>-73.1 (-73.6)</b>
<b>そ の 他</b>	<b>7,083,733</b>	<b>5.9</b>	<b>-28.0 (-25.5)</b>
<b>商 品 券</b>	<b>2,586,264</b>	<b>2.1</b>	<b>-70.7 (-70.8)</b>

注) 構成比は計算処理上必ずしも100%にはなりません。商品券は総額に含まれません。また、商品券の構成比は、総額に対する比率です。本統計には消費税は含まれておりません。

## Ⅱ. 地区別の動き

- |                  |        |                    |
|------------------|--------|--------------------|
| 1. 10都市売上動向      | -76.0% | (店舗数調整後/7か月連続マイナス) |
| 2. 10都市以外の地区売上動向 | -64.2% | (店舗数調整後/7か月連続マイナス) |

### 【地区別売上前年比の寄与度とトレンド】

地区	売上前年比	寄与度	トレンド
<b>10都市</b>	<b>-76.0</b>	<b>-55.3</b>	<b>7か月連続マイナス</b>
札幌	-69.8	-1.9	3か月連続マイナス
仙台	-62.1	-0.8	2か月連続マイナス
東京	-76.1	-21.8	7か月連続マイナス
横浜	-73.5	-4.5	7か月連続マイナス
名古屋	-73.2	-4.8	7か月連続マイナス
京都	-75.2	-3.2	7か月連続マイナス
大阪	-78.9	-12.3	7か月連続マイナス
神戸	-79.8	-1.4	7か月連続マイナス
広島	-68.2	-1.4	3か月連続マイナス
福岡	-85.8	-3.1	7か月連続マイナス
<b>10都市以外の地区</b>	<b>-64.2</b>	<b>-17.5</b>	<b>7か月連続マイナス</b>
北海道	-46.3	-0.1	3か月連続マイナス*
東北	-47.5	-0.6	3か月連続マイナス*
関東	-69.3	-8.2	7か月連続マイナス
中部	-64.7	-1.4	7か月連続マイナス
近畿	-58.7	-2.1	7か月連続マイナス
中国	-56.4	-1.2	7か月連続マイナス*
四国	-67.1	-1.1	7か月連続マイナス
九州	-62.9	-2.8	7か月連続マイナス*

(注) 北海道、東北、中国、九州については、2006年1月からそれぞれ札幌、仙台、広島、福岡を10都市に移行した。(2005年までは6大都市)

### Ⅲ. 商品別の動き

主要5品目は、7か月連続で全品目がマイナスとなった。また、その他の品目も全品目がマイナスとなった。

#### 【商品別売上前年比の寄与度とトレンド】

商品別	売上前年比	寄与度	トレンド
<b>総額</b>	<b>-72.8</b>	<b>—</b>	<b>7か月連続マイナス</b>
紳士服・洋品	-84.5	-5.7	7か月連続マイナス
婦人服・洋品	-87.0	-17.2	7か月連続マイナス
子供服・洋品	-58.5	-1.8	7か月連続マイナス
その他衣料品	-69.5	-1.3	7か月連続マイナス
<b>衣料品</b>	<b>-82.7</b>	<b>-26.0</b>	<b>7か月連続マイナス</b>
<b>身のまわり品</b>	<b>-82.8</b>	<b>-11.4</b>	<b>7か月連続マイナス</b>
化粧品	-81.3	-8.8	3か月連続マイナス*
美術・宝飾・貴金属	-80.0	-5.3	3か月連続マイナス*
その他雑貨	-68.5	-2.4	7か月連続マイナス*
<b>雑貨</b>	<b>-78.7</b>	<b>-16.6</b>	<b>7か月連続マイナス</b>
家具	-46.5	-0.5	7か月連続マイナス
家電	-16.6	-0.0	3か月連続マイナス
その他家庭用品	-68.0	-1.9	7か月連続マイナス
<b>家庭用品</b>	<b>-59.6</b>	<b>-2.4</b>	<b>7か月連続マイナス</b>
生鮮食品	-31.6	-1.4	18か月連続マイナス*
菓子	-66.6	-4.3	3か月連続マイナス*
惣菜	-55.5	-3.3	7か月連続マイナス*
その他食料品	-52.2	-3.6	7か月連続マイナス*
<b>食料品</b>	<b>-53.0</b>	<b>-12.7</b>	<b>7か月連続マイナス</b>
<b>食堂喫茶</b>	<b>-89.9</b>	<b>-2.3</b>	<b>7か月連続マイナス</b>
<b>サービス</b>	<b>-73.1</b>	<b>-0.8</b>	<b>2か月連続マイナス</b>
<b>その他</b>	<b>-28.0</b>	<b>-0.6</b>	<b>2か月連続マイナス</b>
<b>商品券</b>	<b>-70.7</b>	<b>-1.4</b>	<b>110か月連続マイナス</b>

(注) 化粧品、美術・宝飾・貴金属、その他雑貨、生鮮食品、菓子、惣菜、その他食料品については2006年1月から細分化した。

お問い合わせは、日本百貨店協会 森・橘・長柴 まで  
 TEL 03-3272-1666 ホームページアドレス <http://www.depart.or.jp>